Oh! E_NEWS

大井ニュース

VOL.141

2017年5月20日発行 ●発行人／田中俊二 ●発行所／大井産業株式会社 〒813-0062 福岡市東区松島3丁目27番19号 Phone 092-626-5315

与那国島の道

contents

- トピックス …… 02
- ペイント情報 …… 03
- ボディショップニュース …… 04
- 2017「大の市」レポート …… 09
  ご挨拶
  車輛実演・鈑金実演・建築実演etc.
- お客様訪問記 …… 12
  大分県由布市挾間町
  株式会社　ボディーリペア大分
- 今月の推奨品 …… 13
- 人生訓・経営訓 …… 14

国交省、衝突被害軽減ブレーキの国際基準の検討を開始

国土交通省はこのほど、国連の専門分科会において、乗用車等の衝突被害軽減ブレーキの国際基準作りの検討が開始されることを発表した。これまでの国際基準では大型車を対象とした追突実験を定めていたが、今後はその対象を乗用車へ拡大するとともに、対歩行者実験も追加することとした。さらに、自動駐車及び自動車線維持を可能とするための国際基準の改正案についても国連で合意された。基準化が検討されているのは、①時速 10km / h 以下での自動運転を行う自動駐車等、②ハンドルを握った状態での車線維持、③ハンドルを放した状態での車線維持、④ドライバーのウインカー操作を起点とする自動車線変更、⑤システムの判断をドライバーが承認した上で行う自動車線変更、⑥システムON の時に車線維持や変更を行う連続自動操舵の6 つ。また、政府は「2020 年までに運転手が乗車しない自動走行によって地域の人手不足や移動弱者を解消する」と明言した上で、自動運転の事業化に向けた工程表を開示。2018 年中にもドライバーが乗ったトラックを無人トラックが追走する隊列走行や、遠隔制御による無人バス・タクシーの公道実証を実施する計画。

2017年度、四輪総需要は500万台・前年度比99.2%と予測

自工会、2017年度自動車国内需要見通しを発表

日本自動車工業会は3月16日、2017年度の自動車国内需要見通しを発表した。

同会では、2016年度の四輪車総需要を503万8千台・前年度比102％と推計。このうち登録車の販売台数は、新型車効果などにより堅調に推移し、同比106.2%となる331万9千台を見込む。軽四輪車の販売台数は、前年度の軽自動車税増税の影響が続く中、年度前半には燃費問題の影響もあり、171万9千台・同比94.8%と減少を予測している。

2017年度については、四輪総需要で500万台・前年度比99.2%、そのうち登録車が325万8千台・同比98.2%、軽自動車が174万2千台・同比101.3%と予測。車種別の需要見込み及びその理由は次の通り。

●普通・小型四輪乗用車

税制改正によりエコカー減税の適用基準が厳しくなることなどから、281万6千台・前年度比97.9%と見込まれる。

●軽四輪乗用車

軽自動車税増税の影響が引き続きあるものの、前年度に生じた燃費問題の影響から脱することにより、136万2千台・前年度比102.1％と見込まれる。

●普通トラック

公共投資の下支えと底堅い代替需要により、17万7千台・前年度比100.6%と見込まれる。うち大中型トラック需要は9万5千台で、前年度比100%と予測。

●小型四輪トラック

2016年度より継続する、小規模商店の減少や輸送需要減少などの要因により、24万9千台・前年度比98.8%と見込まれる。

●軽四輪トラック

主要ユーザーである小規模商店や農家世帯の減少などにより、38万台・前年度比98.7%と見込まれる。

●大型バス

2016年度と比較して伸びは鈍化するものの、観光などの旅客需要が継続し、7.4千台・前年度比113.8%と見込まれる。

●小型バス

堅調な輸送需要を背景に、8.9千台・前年度比101.1%と見込まれる。

2017年度自動車国内需要見通し

			2015年度	2016年度（見込み）	2017年度（見通し）	対前年度比（%）	
						2016年度	2017年度
四輪車	乗用車	普通・小型四輪車	2,687,460	2,876,000	2,816,000	107.0	97.9
		軽四輪車	1,427,976	1,334,000	1,362,000	93.4	102.1
		計	4,115,436	4,210,000	4,178,000	102.3	99.2
	トラック	普通車	167,498	176,000	177,000	105.1	100.6
		（うち大中型）	88,627	95,000	95,000	107.2	100.0
		小型四輪車	255,324	252,000	249,000	98.7	98.8
		軽四輪車	385,352	385,000	380,000	99.9	98.7
		計	808,174	813,000	806,000	100.6	99.1
	バス	大型	5,538	6,500	7,400	117.4	113.8
		小型	8,586	8,800	8,900	102.5	101.1
		計	14,124	15,300	16,300	108.3	106.5
	合計		4,937,734	5,038,300	5,000,300	102.0	99.2
	登録車		3,124,406	3,319,300	3,258,300	106.2	98.2
	軽四輪車		1,813,328	1,719,000	1,742,000	94.8	101.3

四輪車国内需要の推移（登録車、軽四輪車の内訳）

単位：台（%＝対前年度比）

年度	登録車		軽自動車	
	台数	%	台数	%
1995	5,170,855	102.3	1,724,825	105.1
1996	5,561,608	107.6	1,726,352	100.1
1997	4,747,089	85.4	1,527,939	88.5
1998	4,213,480	88.8	1,653,302	108.2
1999	3,980,658	94.5	1,901,333	115.0
2000	4,119,274	103.5	1,854,165	97.5
2001	3,979,834	96.6	1,839,033	99.2
2002	4,043,464	101.6	1,820,196	99.0
2003	4,029,315	99.7	1,857,749	102.1
2004	3,939,733	97.8	1,880,989	101.3
2005	3,913,183	99.3	1,948,362	103.6
2006	3,587,929	91.7	2,030,616	104.2
2007	3,426,577	95.5	1,893,043	93.2
2008	2,891,902	83.3	1,808,877	95.9
2009	3,182,073	110.0	1,698,191	93.9
2010	2,972,348	93.4	1,628,787	95.9
2011	3,064,336	103.1	1,688,937	103.7
2012	3,237,690	105.7	1,972,600	116.8
2013	3,430,328	105.9	2,261,834	114.7
2014	3,123,980	91.1	2,173,131	96.1
2015	3,124,406	100.0	1,813,328	83.4
2016	3,319,300	106.2	1,719,900	94.8

注／2016年度は一部推定

Standoblue® – Technology that works for you.

スタンドブルー® ―それは“あなたに役立つ技術”

パーフェクトに調和した製品ラインアップ
スタンドブルー® 製品システム

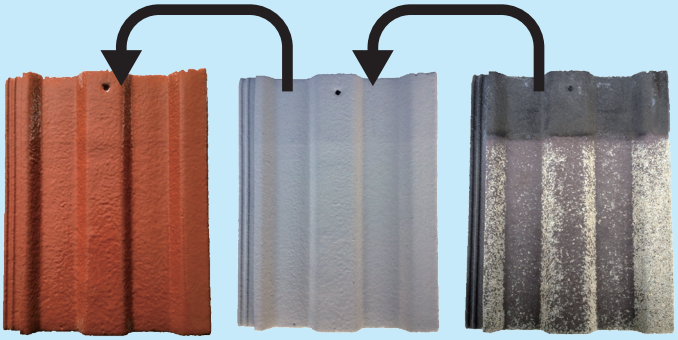
STANDOX
The Art of Refinishing.

アクサルタ コーティング システムズ合同会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー4F
TEL:03-6891-0230(代表) http://www.standox.com/jp/

オリトシールド

塗装時の吸い込みムラを解決!!

劣化が進んだモニエル瓦、
スカンジア瓦
(乾式コンクリート瓦)等の
下地剤の決定版!!



ムラなく上塗り塗装　オリトシールド塗装　劣化の進んだ瓦

屋根用塗料のパイオニア **オリエンタル塗料工業株式会社**

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8　TEL 092-831-2281　FAX 06-6791-4034

ボディショップニュース

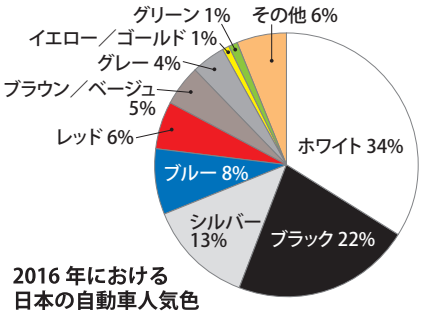
アフターマーケットレポート

国内外の人気色、これからの需要拡大が予測される電子ミラー、塗料需要の予想、自動走行実現に向けて国が発表した具体的な取組方針など自動車業界を取り巻く知っておきたい情報をご紹介します。

アクサルタ、2016年版自動車人気色調査報告書を発表 全世界、日本国内ともにホワイトが人気トップを堅持

アクサルタコーティングシステムズはこのほど、2016年の「自動車人気色調査報告書」を発表した。同書は、世界各地域の自動車市場での人気色調査に基づいており、1953年以降毎年作成されている。

報告書によると、世界全体ではホワイトが前年比2％増の37％と、6年連続で最も人気のある自動車塗色となった。2位はブラックで18％(同± 0%)、3位がシルバーで11％(同2％減)だった。アジアでもホワイトが支持される傾向にあり、シェアは48％(同7％増)。特に中国では半数以上の57％(同7％増)に達している。日本国内においてもホワイトが人気トップとなり、34％(同1％増)を占めた。諸外国と比較し、特にパールホワイトのシェアは世界全体での9%に対し27％と、高い傾向にある。2位はブラックで22％(同2％増)、3位はシルバーで13％(同1％減)だった。一方、有彩色はブルーが8％(同1％減)、レッドは6%(同1％減)と前年並みの結果となった。



2016年における日本の自動車人気色

外装は堅調推移と予想、電子ミラー市場は今年以降拡大

富士キメラ総研はこのほど、自動車部品の世界市場の調査・分析結果をまとめた「2016ワールドワイド自動車部品マーケティング便覧」を公表した。同書ではエンジン系、駆動／足回り系、内装系、外装系の市場動向のほかサプライチェーン動向や部品関連メーカー事例などを捉え、自動車部品市場の将来展望を明らかにしている。

2015年における自動車部品の世界市場は合計で39兆1,290億円だったが、10年後の2025年には44兆5,658億円まで成長すると予想。新興国の自動車生産台数が好調であることや、車体の軽量化に伴うホットスタンプ材など自動車部品の世界市場の推移予測の採用拡大、燃費向上のための部品の電子化・電動化、低燃費タイヤやUVカット機能付きガラスの普及などが進んでいることを受け、堅調に推移すると推測した。

また、今年中に解禁が予定されているバックミラーのカメラ化によって拡大が予想される電子ミラー市場については、2020年に4億円、2025年には16億円まで成長すると予測。先行してヨーロッパで市場が拡大し、その後 アメリカや日本にもその波が訪れるとみられる。今後の課題としては、電子ミラーはバッテリー容量の向上や映像表示の遅延改善、誤作動や故障時の安全確保などが挙げられる。

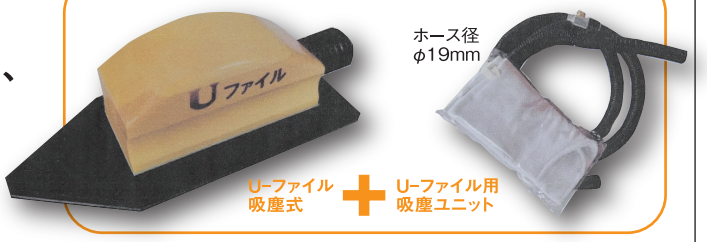
U-ファイル 吸塵式 非吸塵式

木製タイプのハンドファイルで、吸塵力に優れ、小型・軽量により取り回しが良く作業性抜群!!

《製品特長》
●小型・軽量の木製ファイル
●パットの形状が隅々までの研磨を可能に
●平滑性が出しやすいマジックを採用
●吸塵式は、ファイルとパットが取り外しができパットの向きが変更可能に

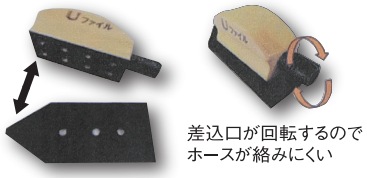
タイプ	ペーパーサイズ(mm)	重量(g)	全長(mm)	全高(mm)
吸塵	75×175	約145	188	56
非吸塵	75×175	約130	173	48

U-ファイル吸塵式フルセット ¥11,500



U-ファイル 非吸塵式 ¥3,600

吸塵式の特長



埼玉精機株式会社 〒360-0843 埼玉県熊谷市三ヶ尻2942 TEL:048-532-3804

日塗工、2017年度の塗料需要を予想
自補修塗料は対前年度比－1.5%の3万8千トン

日本塗料工業会（石野博会長）はこのほど、2017 年度の塗料需要予測（表 1）を発表した。

これは公表されている政府、民間の経済見通し及び主要需要産業の 2017 年度の景気動向予測や、業績予測アンケートなどから推計したもの。それによると 2017 年度の塗料需要は 142 万 5 千トンで、2016 年度の需要実績見込みである 141 万 1 千トンと比較して ＋ 1% と予測されている。

失業率の低下や所得の増加、米国の経済発展などの要因による緩やかな景気回復の動きに加え、五輪需要についても一定の期待感を示す一方、米国政策の影響など懸念材料もあることから、総合的には微増にとどまると予想。

産業別では、新造船需要が不透明な「船舶」、官公需要が減少に転じる「機械」と「道路車両・補修」以外はすべて前年度比でプラス予測となった。

「道路車両・補修」の需要については、予防安全装置の普及拡大により修理入庫台数が減少し、市場全体が縮小傾向にあるとして、前年度比 98.5 % の 3 万 8 千トンと厳しい見方が示された。

「道路車両・新車」は、新型車の投入や軽自動車の生産回復により若干の増加が見込まれるとして、同 101% の 21 万トンと予測している。

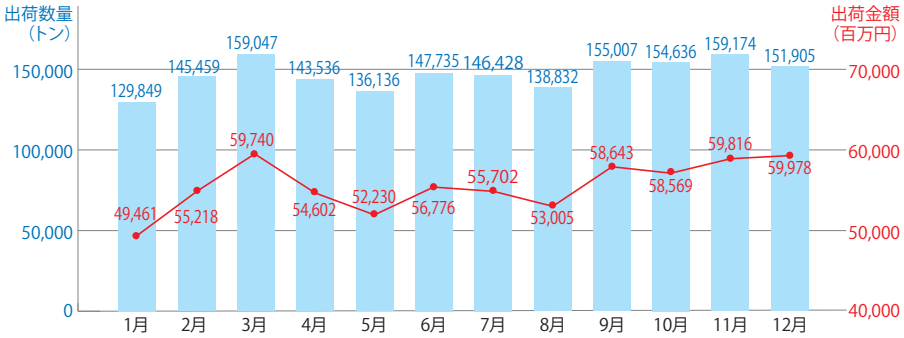
一方、2016 年の塗料出荷数量及び金額の推移はグラフ 1 の通り。前年と比較して出荷数量の合計は 0.6% 増加したが、全体的に平均単価が低下しており、出荷金額合計は－ 0.6% と減少している。

表 1 ／ 2017 年度　塗料需要予測　　データ出典／日本塗料工業会 Webサイト

需要産業区分		2016 年度需要実績 ※見込み（千トン）	2017 年度予測数量（千トン）	前年度比（%）
建物		393	397	101.0
建築資材		71	72	101.0
構造物		103	104	101.0
船舶		120	118	99.0
道路車両	新車	208	210	101.0
	補修	39	38	98.5
電気機械		41	42	101.5
機械		51	51	100.0
金属製品		121	124	102.5
木工製品		15	16	102.5
家庭用		30	31	101.5
輸出		80	81	101.0
路面標示		67	69	102.5
その他		72	73	101.0
合計		1,411	1,425	101.0

グラフ 1 ／
2016 年の塗料出荷数量・金額の推移

データ出典／日本塗料工業会 Webサイト



STANDOX
The Art of Refinishing.

アクサルタ コーティング システムズ合同会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー4F
TEL:03-6891-0230(代表) http://www.standox.com/jp/

自動走行ビジネス検討会、「自動走行の実現に向けた取組方針」を固める

国土交通省及び経済産業省はこのほど、自動走行ビジネス検討会及びワーキンググループなどにおいての検討結果を「自動走行の実現に向けた取組方針」として取りまとめた。

両省は2015年2月より同検討会を設置し、自動走行における国際的な競争力を確保し、交通事故削減などに貢献するために必要な取り組みを検討してきた。2015年度は①高速道路における一般車両の自動走行などの将来像の明確化、②協調領域の特定、③国際的なルール（基準・標準）作りに戦略的に対応する体制の整備、④産学連携の促進に向けた議論を行い、2016年3月に「今後の取組方針」として公表した。

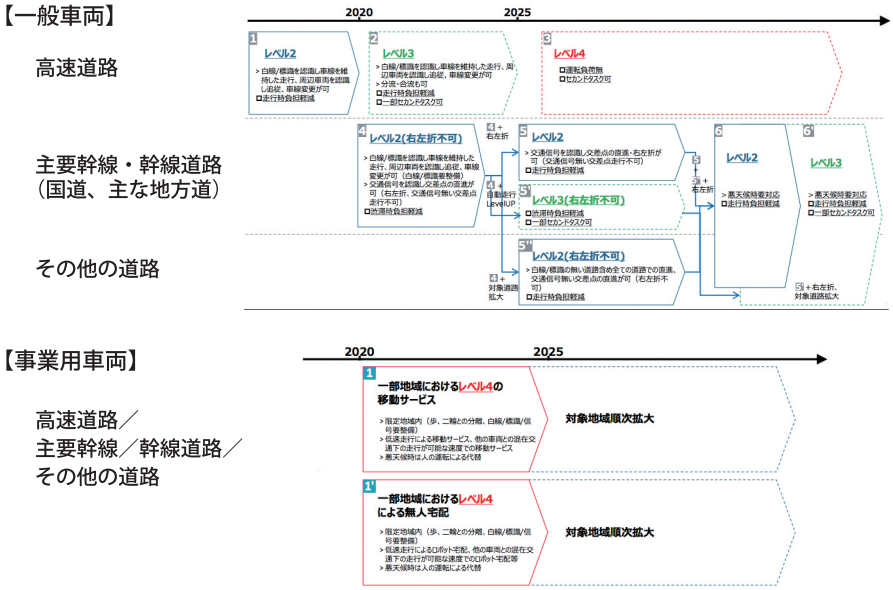
今年度は一般道路における一般車両の自動走行などの将来像の明確化と、特定した協調領域の深化・拡充に向けた検討などを行い、同書はその検討結果を取りまとめたものである。

同書によると、一般車両の自動走行レベルの将来像は、2020年までに高速道路上で運転者が安全運転にかかわる監視を行い、いつでも運転操作ができることを前提にした加減速及び車線変更が可能な「レベル2」を実現し、その後一般道でも順次導入する。また、事業用車両は2020年ごろに社会ニーズが強い地域や経済性の成立しやすい地域を選定し、限定地域におけるすべての運転タスクをシ

図1　自動走行レベルの定義

レベル	概要	安全運転にかかわる監視、対応主体
運転者がすべてあるいは一部の運転タスクを実施		
レベル0（運転自動化なし）	・運転者がすべての運転タスクを実施	運転者
レベル1（運転支援）	・システムの前後・左右のいずれかの車両制御にかかわる運転タスクのサブタスクを実施	運転者
レベル2（部分運転自動化）	・システムが前後・左右の両方の車両制御にかかわる運転タスクのサブタスクを実施	運転者
自動運転システムがすべての運転タスクを実施		
レベル3（条件付き運転自動化）	・システムがすべての運転タスクを実施（領域限定的） ・システムの介入要求などに対して、予備対応時利用者は、適切に応答することを期待	システム（システム障害発生時は運転者）
レベル4（高度運転自動化）	・システムがすべての運転タスクを実施（領域限定的） ・予備対応時において、利用者が応答することは期待されない	システム
レベル5（完全運転自動化）	・システムがすべての運転タスクを実施（領域限定的ではない） ・予備対応時において、利用者が応答することは期待されない	システム

図2　一般車両及び事業用車両における自動走行の将来像



ステムが実施する「レベル 4」を実現し、順次対象を拡大する。

自動走行の実現に向けて必要な技術についても洗い出し、その中から 9 分野を重要な協調領域と定め、既存事業も活用しながら取り組みを推進していく。今後はこれらの見通しに向けた実証プロジェクトが実施される予定で、ドライバーが乗ったトラックを無人トラックが追走する隊列走行や、専用空間での無人小型カート及びバスを自動走行させるラストワンマイル自動走行、専用駐車場で自動駐車する自動バレーパーキングについては実現に向けたロードマップを作成し、実証実験やビジネスモデルの具体化が進められる。

自動走行実現に向けて重要な協調領域

協調分野		実現したい姿・取り組み方針
1	地図	自動走行用地図を迅速に整備。高速道路については方向性がおおむね合意。一般道について仕様などを各社協調して明確化し 2018 年度から整備開始。同時に自動図化などコスト低減を推進。ダイナミックマップとしてのサービス向上のために、2018 年度にプローブデータ（GPS から得られる移動軌跡情報）の取り扱いを決定
2	通信インフラ	高度な自動走行の早期実現のための安全確保に向け、外部に向けて提供する機能（ユースケース）を設定し、適応インフラ・仕様、実証場所を業界、国が協調して 2017 年度に決定
3	認識技術	海外動向に鑑み、最低限満たすべき性能基準とその試験方法を順次確立。また、開発効率を向上させるため、データベース整備、試験設備や評価環境の戦略的協調を推進。走行映像データなどのセンシングデータ、ドライブレコーダー、運転行動データや交通事故情報の活用目的を早期に明確化し、2020 年度までに運営体制を構築
4	判断技術	
5	人間工学	開発効率を向上させるため、開発・評価基準の共通化を推進。運転者の生理・行動指標、運転者モニタリング要件や安全な運転委譲のための必要条件などを検討し、2017 年度から大規模実証実験を開始。その結果を含めて、グローバル展開を視野に国際標準化を推進
6	セーフティ	安全設計の開発効率化のため、共通の開発手法と評価方法を確立。安全に関する認証の目的・必要性の判断、国際的な性能基準としての安全要件の検討を 2019 年度までに行ない、海外動向に鑑み、2019 年度に評価・認証体制を構築
7	セキュリティ	安全確保のための開発効率化のため、開発手法を共通化ならびに最低限満たすべきセキュリティ水準を 2016 年度に設定し、評価環境を 2019 年度に立ち上げ。さらに、2018 年度にインシデント対応に関する情報共有体制を構築
8	ソフトウェア人材	開発の核となるソフトウェア人材の不足解消に向け、発掘・確保・育成を推進。セキュリティ人材についても、産学官が協調して育成する仕組みの検討が必要
9	社会受容性	自動走行の効用・リスクを示した上で、国民のニーズに即したシステムを開発、社会実装にも必要な環境を整備。2018 年度をめどに効用の提示、責任論を整理し、その後も状況に応じた検討を進め継続的に情報を発信

自動車整備業の倒産件数、2年連続で前年超え

東京商工リサーチ（東京都千代田区）はこのほど、2016 年の自動車整備業における倒産状況を発表した。同年の全国企業倒産件数は 8 年連続、負債総額は 2 年ぶりに前年を下回ったものの、自動車整備業での倒産件数は 75 件（前年比 13 件・20.9% 増）、負債総額は 55 億 8,900 万円（同 33 億 700 万円・144.9% 増）と、いずれも前年を上回った。

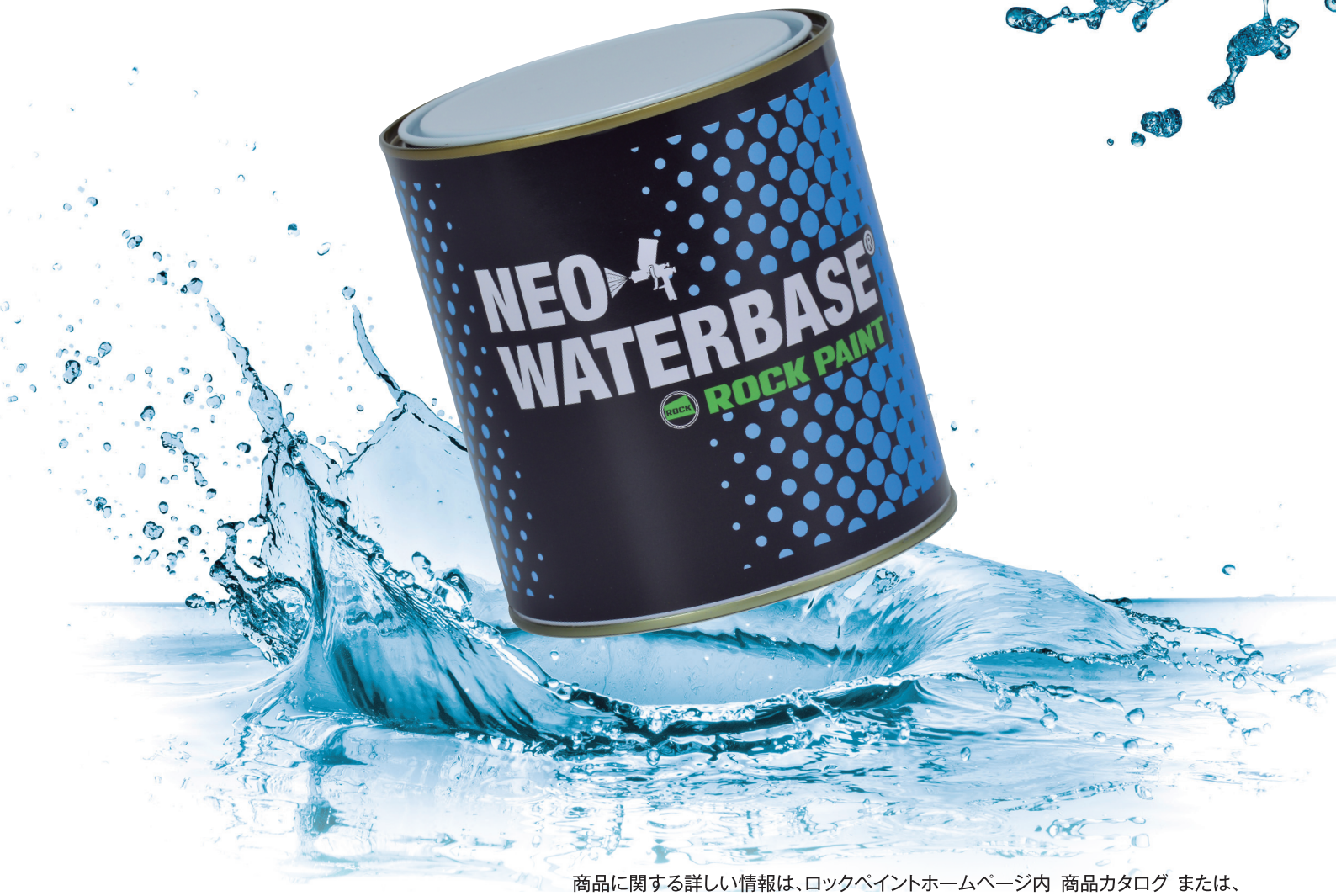
資本金別では、「100 万円以上 500 万未満」が 26 件（同 3 件・13% 増）で最多となり、以下「個人企業」が 22 件（同 3 件・15.7% 増）、「1,000 万円以上 5000 万円以下」が 19 件（同 3 件、18.7% 増）で続く。従業員別では「5 人未満」が 57 件（同 3.6% 増）で全体の 76% を占めた。また、休廃業・解散件数は 2007 年以降増加傾向が続いており、2016 年は 265 件（同 6.8% 増）で、過去 10 年間で最多となった。

事業主及び技術者の高齢化による人材不足・後継者難は業界に多大な影響を及ぼしている。今後は若手技術者の採用のみならず、設備投資や作業効率化による生産性向上、ワークシェアリングによる高齢者及び女性の活用など、働き方に関する再考が求められる。

New Design!
Brushed Up!
Neo Water Base!

ECO Friendly
ROCK PAINT

この度、装いも新たにラインナップを拡充させた
ネオウォーターベースを皆様にご提案します。
“進化形” 環境対応型 1液水性ベースコート
ネオウォーターベースを是非、実感してください!



商品に関する詳しい情報は、ロックペイントホームページ内 商品カタログ または、
TDS(テクニカルデータシート)よりご覧いただくか、弊社担当営業までお問い合わせください。

ロックペイント株式会社

福岡営業所 ／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ケ浜3丁目2番1号
TEL (092) 962-0661 FAX (092) 963-1241
大阪営業部 ／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号
TEL (06) 6473-1650 FAX (06) 6473-1000
営 業 所／札幌・仙台・東京・西関東・名古屋・岡山
ロックペイントのインターネットホームページ http://www.rockpaint.co.jp

2017.4.8～4.9　於:福岡国際センター

第39回大の市

ご来場、誠にありがとうございました。

皆様からの多大なご協力をいただき、第39 回目となる「2017 年 大の市」も盛況の内に開催することができました。大井産業グループを代表致しまして心より御礼申し上げます。

2 日間で3,665名もの方々にご来場頂き深く感謝しております。

今年もより一層ご利用いただきやすいようにと、レイアウトの一部を変更。昨年ご好評をいただいた体験ブースを今年も設置し、多くの方のご利用をいただきました。また、各メーカー様にもご尽力頂き、バラエティ豊かで内容の濃いデモンストレーションやプレゼンテーションが実施され、将来を見据えた質の高い情報のご提供ができたのではないかと思っております。多くの皆様方が和やかに談笑なさる姿、熱心に展示品やデモンストレーションに見入っていらっしゃるご様子が目に映り、皆様方の熱い想いに感じ入る2 日間となりました。

「大の市」はユーザー様、各メーカー様、そして弊社という3つの存在があって初めて成り立つものです。弊社は一貫して「共存共栄」というモットーを掲げております。会場内で感じた大きな力を集約させ、皆様方と培ってきた強い絆をより一層強固なものにするために社業に精進して参ります。

大井産業株式会社 代表取締役　田中 俊二

3,665 名の方に ご来場いただきました

街には満開の桜が咲き誇る中、4月8日(土)と9日(日)の2日間、《大の市》を盛況のうちに開催することができました。出展企業は100社以上、2日間で九州各地からご来場いただいたお客様は3,665名。“自動車・建築関連九州最大の総合機材展”の名に恥じない盛大なイベントとなりました。本当にありがとうございました。

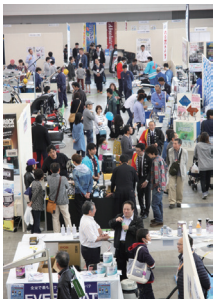
今後につながる情報提供が私たちの喜びです。

8日(土)10:00のテープカット後、お客様を迎えるレッドカーペットの先の扉が開かれ《大の市》がスタート。直後より多くのお客様のご来場をいただき、9日(日)16:00まで熱のこもった2日間となりました。

水性塗料の実演、新素材への対応、作業効率の改善、コストの削減、最新技術のセミナーなど、車輌関係においても建築関係においても、ご来場いただいたみなさま方には、業界の“今”と“未来”に触れていただくことができたかと思います。各ブースでは、笑顔の中にもプロ同士の真剣なやり取りが行なわれており、ご来場いただいた皆様と出展業者のみなさまの情熱を感じずにはいられませんでした。皆様方の今後につながる情報を1つでもご提供できたのならば、それが私たちのなによりの喜びです。

第39「サンキュー」回ということでみなさまへの感謝の気持ちをより強く感じながらのぞんだ今回の《大の市》。節目の40回となる来年の《大の市》が、より一層にぎわうものになるようにと決意を新たにしております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



塗装 実演 CAR BODY PAINTING

特設塗装ブースにて 6 社が塗装実演を開催。水性塗料実演では、気温 22 度、湿度 70% という悪条件の中でしたが、各社が最新の技術を駆使しながら、イチオシ商品の実力を見せてくれました。

■ BASF ジャパン（株）　溶剤塗料よりも、早く・簡単な水性塗料オニキス HD のご紹介

■ロックペイント（株）「NEO WATERBASE」と「HYPERCLEAR SW」のご紹介

■（有）ジェットストローク　塗って守って剥がせる塗装「ラバーディップ」の実演

■日本ペイント（株）　次世代水性カラーベース nax E-CUBE WB を使用した塗装実演

■アクゾノーベル（株）　水性塗料オートウェーブ 2.0 と最先端調色 system オートマチックビジョン

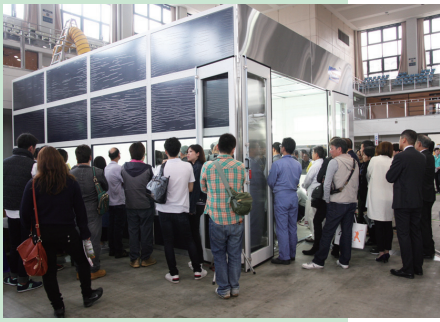
■アクサルタコーティングシステムズ（同）
理想とされる品質と性能を実現する実演

車輌 関連実演 CAR BODY REPAIR

各ブースでも随時実演を開催。樹脂パーツなど、これからますます需要が高まる素材を扱うブースにも多くの方が集まりました。昨年に引き続き設置された試し吹きコーナーも好評でした。

■スプレーガン試し吹きコーナー

■石原ケミカル（株）
耐スリ・特殊クリヤーのポリッシング実演



■（株）ソーラー
耐スリ・特殊クリヤーのポリッシング実演

■スリーエムジャパン（株）
耐スリ・特殊クリヤーのポリッシング実演

■プレステイジ
耐スリ・特殊クリヤーのポリッシング実演

■ネキスト（株）
ヘミング・リムーバルツール実演

■パーフェクトグルー西日本
今後更に増える樹脂パーツの補修実演

■ trust ONE
今後更に増える樹脂パーツの補修実演

セミナー SEMINAR

セミナー会場では、（株）プロトリオスによる『自動車の新技術と車体修理の変化』と『衝突安全ボデーの進化と損傷波及』について、（株）ヤシマによる『最新自動車の溶接について』の講演が行われました。

■（株）プロトリオス
講師・小川直紀氏による講演

■（株）ヤシマ
講師・武井哲也氏による講演

建築 関連 ARCHITECTURE PAINTING

建築関連では、展示・説明だけではなく、ローラーの塗り心地などお客様に実際に試していただくことができるブースもありました。各社ローラーの試し塗りコーナーを今年も設置いたしました。

■日本ペイント（株）　パーフェクトシリーズから水性遮熱塗料が新登場 !!

■リョービ販売（株）　フッ素コート使用「パワーミキサー PM-1011F」

■大塚刷毛製造（株）
特製ローラーシリーズ

■オリエンタル塗料工業（株）　モニエル瓦専用下地材の決定版「オリトシールド」

■各社推奨　ローラー試し塗りコーナー

【大分県由布市挾間町鬼瀬】

株式会社 ボディーリペア大分

代表取締役 小川 崇紘 氏

小川代表

新設した塗装ブースでは、水性塗料への移行がいつでも可能とのこと

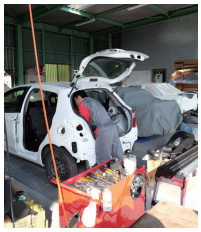
基本に忠実、かつ、常に向上心を

大分市横瀬で《ボディーリペア大分》を創業した代表・小川崇紘さん。今年２月、国道 210 号線沿いですぐ裏手には JR 久大本線が走る由布市挾間町に工場を新設した。「横瀬の本店では鈑金を中心に、新工場では塗装を中心にした業務を行なっています。近くには民家がない場所でもありますし、新しい機材も取り入れ、スタッフみんな気持ちよく仕事ができるのがなによりですね」。仕事を行なっていく上で、小川さんご自身が大切にし、スタッフのみなさんにも常に伝えているのは『基本』と『向上心』だ。「『上手に』ということではなく、まず大切なのは基本を忠実に行なうこと、どうすれば失敗しないのかを身につけることです。基本ができていなければ、何もできません。そして、基本をベースに、常に向上心を持って仕事に取り組むことが重要だと思います」

前進するための『小さな勇気』

向上心を念頭に置かれている小川さんは新技術や新素材に対しても柔軟だ。「気になったものは何でも一度は自分で試してみますね（笑）。水性塗料なども、やがて使わなければならない時がやってきます。その時から始めても、先行している他社に遅れをとってしまうでしょう。いつでも対応できるように準備しておかなければなりません。経験にとらわれることなく、やってみることは大事です。それを決断するのに必要なのは勇気。私は『小さな勇気』という言葉が好きなんです。その積み重ねで前進できるのですから」

現場作業や打合せなど日々の仕事はもちろん、HPの充実なども手がけている小川さん。お子さんと過ごす休日以外はアクセル全開だが、先々のことも見据えていらっしゃるようだ。「年月を経れば私の技術が今よりも落ちることは仕方のないことです。その時までにまかせられる人材を育成しなければなりません。私がちゃんと引退できるといいですよね（笑）。大分ではみなさんに知っていただける会社になりたいですし、お客様から『《ボディーリペア大分》に頼めば間違いない』と言っていただける会社を目指していきます」


明るく作業しやすい環境

小川さんの奥様がデザインしたオフィス

チームワークもばっちりとのこと

企業 DATA

所 在 地／大分県由布市挾間町鬼瀬 751
従 業 員／８名
代 表 者／小川 崇紘 氏
使用塗料／アドミラ

ローケン史上最高スペック誕生 超々高張力鋼板対応型

S2000

BIC TOOL®

超々高張力鋼板に対応

「スーパーカッターSP802（別売り）」を再研磨する事で、超々高張力鋼板に対し最高の切れ味を維持することができます。

シンプルな操作感

「セッティング・1番研ぎ・2番研ぎ」の3工程で誰でも簡単に、再研磨することが可能です。

Φ6.5研磨機能を追加

従来機のΦ8～10の研磨範囲に加え、新たにΦ6.5が研磨可能になりました。

■仕様

研磨範囲	Φ6.5～10.0mm
モーター出力	65W
電源	AC100V　50／60Hz
寸法	W230×D230×H225mm
重量	8kg
砥石	CBN#170

最新スポットカッター

月光・金太郎

一般鋼板から最新の超高張力鋼板まで

すべてこの一本で!!

ベルトサンダー不要!!

ドリル径　8.2mm
シャンク径　9.0mm
全長　80mm

再研磨はローケンで1番研磨のみ。

S2000再研磨で新品の切れ味がよみがえる。

■切削例（当社比）

1600 MPA	他社	:1穴～1.5穴
	月光.金太郎	:15穴～20穴

BIC TOOL® CO.,LTD.
株式会社 ビック・ツール
本　　社／〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津38　TEL 0859-27-1231　FAX 0859-27-2808
東京営業所／〒330-0043 埼玉県さいたま市浦和区大東2-12-30 TEL 048-813-2531　FAX 048-813-2520
http://www.bictool.com

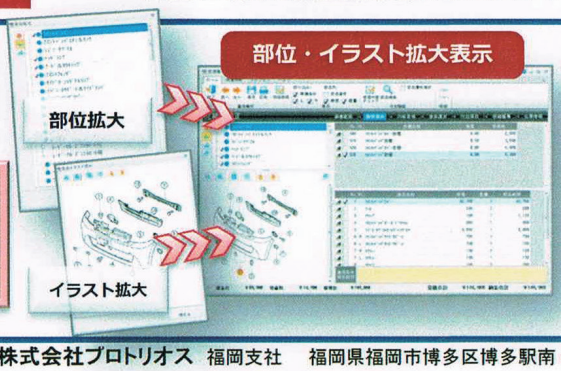
新金塗装見積りシステム
Morenon NEXT
PROTO RIOS

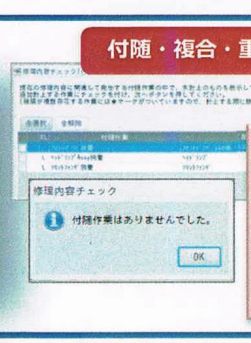
皆様の要望を実現！

従来の「モレノン」の機能や操作性を引き継ぎ、パワーアップで登場！
次世代に向けた鈑金塗装見積りシステム「モレノン NEXT」

ここが新しい！

修理選択で、部位・イラストを拡大表示。画面を切り離して使えます。





修理内容チェック

付随作業（例）

ヘッドランプ脱着しか拾っていない時に、フロントバンパ脱着が表示されるなど、現在の修理内容に関連して発生する付随作業の中で、未計上のものが表示されます。

PROTO RIOS　株式会社プロトリオス 福岡支社　福岡県福岡市博多区博多駅南 4-2-10 南近代ビル 9F　TEL 092-433-8851　FAX 092-433-8853

富山の薬売りに学ぶ。

顧客を大切にし、みんなが幸せになれる仕事を

みなさんのご家庭にも、使った分だけ後で支払う置き薬が入った小箱が置かれているのではないだろうか？
この便利な仕組みは、江戸時代に富山県から広まり、『富山の薬売り』として今も広く知られている。
当時としても斬新な商いには、現代のビジネスにもつながる重要なことが数多く含まれているのだ。

富山の薬売りとは？

富山の置き薬商法は、十分に農作物が収穫できる土地ではなかったなど、財政基盤の弱かった富山藩が製薬とともに江戸中期に始めたと言われている。薬を各家庭に置かせてもらい、半年に一度のペースで巡回し、使われている分だけの代金をいただき、薬を補充する。現代で言えばリースとクレジットが融合したような画期的な商売だった。戦国の争乱が終わった後、各藩が領民の健康を守ることに力を入れていたという時代背景もあり、全国に急速に広まっていった。医薬品を家庭に常備することがむずかしかった庶民にとって、大変ありがたいものでもあったのだ。それから約300年、柳行李をかついでの徒歩による行脚ではなくなったが、その商法は現在まで変わらずに脈々と続いている。

先用後利

薬売りを奨励した富山藩二代藩主・前田正甫（まさとし）が訓示した基本理念は「用を先にし利を後にし、医療の仁恵を浴びせざる寒村僻地にまで広く救療の志を貫通せよ」という『先用後利（せんようこうり）』。直接的には「先に使っていただき、後で代金をいただく」という意味になるが、この言葉が持つ本当の意味は深い。

今ほど交通が便利ではなかった江戸時代、いかにいい薬を持っていたとはいえ、他藩（富山藩）から訪れた薬売りが初めから信用されることはなかったはずだ。まずは、すばらしい効能がある薬であることをわかってもらうこと。そして、薬売りとしての信用・信頼を培っていく。それができてこそ、“利”が後からついてくると信じていたのだ。薬売りたちは親から子へ、子から孫へ「（仕事は）自分たち一代限りと思うな。孫の代まで続けるという心がけで、真心をこめて対応し、誠を尽くそう」と代々語り継いだ。そのことを実践するために『信用三本柱』～「薬の信用」「商いの信用」「人の信用」～をいつも念頭においていたという。

また、薬売りたちは熱心な仏教徒が多く、柳行李の中に小さな仏像を納めていたとのこと。「仏の願いにしたがって顧客に薬のご利益を与える。顧客は病気が治るというご利益に対して感謝の気持ちとして代金を支払う。それが薬を与えた者に利益となって返ってくる」と考えていた。そこには、物とお金が交換される単なる「商売」ではなく、「互いに利を分かち合う真心と感謝の結びつき」があった。しっかりした理念があればこそ、薬売りたちは困難なことも多い長旅を乗り越え、全国各地で顧客との強い人間関係をつくることができたに違いない。

『先用後利』

用を先にし利を後にし、
医療の仁恵を浴びせざる寒村僻地にまで
広く救療の志を貫通せよ。

……富山藩二代藩主・前田正甫

懸場帳とおまけ

パソコンもなかった時代だが、合理的な顧客管理がなされていた。そのツールが薬売りが持ち歩いた『懸場帳（かけばちょう）』だ。家族構成や薬の品目・種類などの基本状況に加え、顧客の健康状況、支払い状況などが記されており、次回の需要予測などを行なう時にも有効なものだった。顧客データベースの元祖ともいえるものだったのだ。『懸場』は「かけがえのない場所＝かけがえのない顧客」を意味するとのことで、『懸場帳』は１つの町に１冊というように、地域を基準にして作られていた。今はタブレット端末などに形を変えているが、基本的な仕組みは当時と同じだ。個人情報が遵守される現代では想像できないが、家族情報が記されていたことから、お見合いのセッティングなどに利用されていたこともあったようだ。

懸場帳

おまけの浮世絵

さて、日本のおまけの元祖は『富山の薬売り』だったと言われている。薬売りたちは薬の他に、縫い針、糸巻き、手ぬぐい、浮世絵版画、紙風船、食品分類表などを持ち歩き、全国の顧客に届けていた。定期的に訪ねる地方の顧客へ、最新の情報や江戸文化を伝えるものでもあり、娯楽性のあるものや実用的なものが特に喜ばれていたようだ。このようにして大人たちとも、将来の顧客たちである子どもたちとも関係性をより深めていった。

お客様との絆を大切に

私たちの業界と置き薬との間には、一見、つながりがなさそうにも思えるが、お客様第一主義の商いとしてとらえると、参考になる部分が多いのではないだろうか。基本理念である『先用後利』は、お客様の信頼を先に得ることがなによりも大切であるということに他ならないからだ。お客様の役に立ち、喜んでいただくことで自分たちも幸せになる。それはすべての仕事についていえること。どんなに機械化やIT化がすすんでも人と人とのつながり、信用と信頼が仕事の基本となることは、いつの時代も変わらない。

JR 富山駅前にある銅像

3M Science. Applied to Life.™

Go Blue for Abrasives Users.

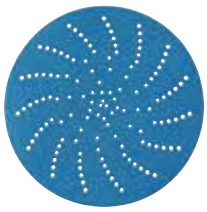
3M™ フッキット™ ブルー サンディングペーパーは、3M社の新しいペーパー研磨材シリーズです。

Longer life.
Better finish.
Faster cut.

CUBITRON™ II

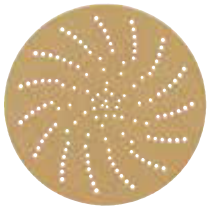
3M™ キュービトロン™ II

精密成型砥粒（PSG※2）を使用した最高級※3研磨材。切れがいい・目が細かい・もちがいい、シリーズ最高の研磨性能を求める方へ。



3M™ ブルー

セラミック砥粒を低番手に採用し、従来品である3M™ パープル研磨材と同様に低番手から高番手まで安定した高い研磨性能を発揮します。幅広い番手に高い研磨性能を求める方へ。



3M™ ゴールド

切れ・もち・目の細かさのバランスの取れたスタンダード研磨材。
コストパフォーマンス重視の方へ。

※2：PSG : Precision-Shaped abrasive Grain ※3：当社比

3M、フッキット、キュービトロンは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
オート・アフターマーケット製品事業部
http://www.mmm.co.jp/aad/

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-211
8:45～17:15 ／月～金（土日祝年末年始は除く）
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます